

が つ ど い り ん ぼ か ん  
**3月 土居隣保館カレンダー**

にち 日	げつ 月	か 火	すい 水	もく 木	きん 金	ど 土
					1	2
3 りんぼかん 隣保館まつり 10:00~	4	5	6	7 λ0-170ビ ック 10:00~	8	9
10	11 クラフトバン ド教室 10:00~	12	13 どいちゅう 土居中 こども会 19:15~	14 λ0-170ビ ック 10:00~	15	16
17	18 ゆうゆう 悠遊クラブ 10:00~	19	20 しゅんぶん ひ 春分の日	21	22	23 もっこうきょうしつ 木工教室 10:00~
24・31	25	26	27	28	29	30

りんぼかん じんけんそうだん しょくぎょうそうだん おこな  
**隣保館では、人権相談や職業相談を行っています**

なや  
悩んでいることはありませんか？  
 りんぼかん じんけん かか なや そうだん まどぐち しょくば  
 隣保館は、いつでも人権に関わる悩みを相談できる窓口です。「職場でのハラスメント」、「職場  
 がっこう い なん そうだん じゅんかいそうだん しょくぎょう  
 や学校に行けない」など何でも相談してください。また、ハローワークの巡回相談（職業  
 そうだん おこな じゅんかいそうだん でんわ よやくせい こんねんど  
 相談）を行っています。巡回相談は、電話による予約制となっています。今年度より、ハロー  
 しょくいんげん ていきかいさい りょうかい  
 ワーク職員減により定期開催はなくなりましたので、ご了解ください。

ど い り ん ぼ か ん だ よ  
**土居隣保館便り**

れいわ ねん  
**令和6年**  
**3** がつごう  
**月号**

はっこう ど い り ん ぼ か ん しこくちゅうおうしどいちょうふじわら  
 発行:土居隣保館 〒799-0703 四国中央市土居町藤原5-400-3 TEL/FAX 28-6356

だい かいど いちいき ねんせいこうりゅうかい  
**第2回土居地域6年生交流会**

れいわ ねん がつ にち すい ど いちゅうがっこうにおいてどいちいき しょうがっこう 6年生97名、土居  
 ちゅうがっこうせい と きょうし めい づと だい かいど いちいき ねんせいこうりゅうかい かいさい  
 中学校生徒8名、教師80名が集い、第2回土居地域6年生交流会が開催されました。小学校  
 ごとにテーマ(山の粥・渋染め一揆・水平社創立・安藤正楽・身元調査おことわり運動)に沿っ  
 て、学校で学んだ内容や感想を発表しました。その後、中学生も加わり8班に分かれ話し合い  
 をしました。2時間の限られた時間でしたが、子どもたちは交流を深めました。

ねんせいこうりゅうかい さん か しょうがくせい かんそうぶん しょうかい  
 6年生交流会に参加した小学生の感想文を紹介します。

こ ぶ じ しょうがっこう すずき も か  
**小富士小学校 鈴木 萌華**

わたし ねんせいこうりゅうかい かくがっこう はっぴょう き  
 私は、6年生交流会で各学校の発表を聞いて、みんな同じ人間なのに差別するの  
 はおかしいと感じました。班の話し合いでは、相手の立場に立ったとき、自分はどうす  
 るか考えました。みんなの思いや考えがあって、いろいろな人の意見が聞けてよかつ  
 たです。

さべつ しょうがくせい こうどう ともだち たいせつ じぶん  
 差別をなくすための行動として、友達やクラスのみなを大切にするために、自分が  
 はな ことばひと ひと かんが つた  
 話す言葉一つ一つを 考えて伝えるように、これからもしていきます。

ど い しょうがっこう いしかわ な な  
**土居小学校 石川 七菜**

わたし きょう ねんせいこうりゅうかい ねんせい いけん はっぴょう き あらた  
 私は、今日の6年生交流会でたくさんの6年生の意見や発表を聞いて、改めて  
 さべつ やいじめは絶対あってはいけないと思いました。中でも、小富士小学校の発表  
 にあった、安藤正楽という人が心に残りました。事前に学習していたけれど、正楽さ  
 さんの差別をなくそうと全力を尽くしたことは、すばらしいと思いました。班での発表  
 もたくさんの人の思いや考えを聞き、考えを深めました。これからは、みんなに  
 びょうどう せつ  
 平等に接していきたいです。



北小学校 高橋 絢星  
 「命は、何よりも大事」と強く心に残った。ぼくは、身元調査おことわり運動で、住んでいる場所や親の事、仕事などで、差別されるのはおかしいと思った。ぼくは、その人とちゃんと話をして、相手の事を知りたいと思った。みんな同じ人間なので、全員の命を大切にしていく。それが、人としてあたりまえの行動だと思う。ぼくは、土居中の先ぱいのように、正しいことを伝えるために、声をかけて行く。それがぼくの誇りだ。

関川小学校 佐藤 舞衣子  
 私が他校の発表を聞いて学んだことは、見て見ぬふりをせずに、自分たちが行動していかなければならないということと、誰に対しても、平等に接するという事です。自分の行動を振り返ってみると、自分がされたいやだなと思う行動をとっていることに気が付きました。だから、これからは、「ありがとう」の言葉を増やし、自分がされてうれしい行動をみんなに平等にしていきたいです。自分たちが行動して差別をなくしたいです。

長津小学校 村上 綺花  
 私は交流会で、これまで学んだことをもとに、差別をなくすためにはどうすればよいか、たくさん話し合いました。差別は、人の生きる力をうばい、相手を傷つけるだけの、本当にあってはならないものだと改めて思いました。だからこそ、私ができることは、差別を許さないという思いを強く持ち、反差別の輪を広げていくことだと考えました。中学校に入学しても、差別に対する思いを強く持ち、たくさんの人と関わっていききたいです。



土居隣保館 人権のつどい

2月16日(金)土居隣保館において、「就学前・小学校・中学校の連携から社会教育へ」～子どもたちの育ちをつないでいるのか 保護者の研修をつないでいるのか～のテーマの下、パネルディスカッション形式で参加者の意見交換も交えて土居隣保館人権のつどいを開催しました。パネラーに、京極 祐美子さん(東 幼稚園)、鈴木 幸徳さん(小富士小学校)、宇野 公規さん(土居 中学校)、星川 ひとみさん(生涯学習課)の4名を招いて、過去の自分を振り返り、反省を通して人とのつながりと連携の大切さを学習しました。その中で印象に残った言葉を紹介すると「伝え方を大切にしている子どもと保護者としっかり関わる事が大事」「子どもの頃に、あそこは怖いと差別の刷り込みがあり鶴呑みにしていたこと」「5つの目標が、子から人になっていて、子どもでも大人でも心を育てる上で大切である」「偏見が水のように吸い込まれる」「繰り返しが大変であり、解決できるまで何度も行うスパイラルの学習が大切である」などです。特にどのパネラーの方も5つの目標を重要に考え、人権・同和教育に取り組んでいることがわかりましたので、紹介します。

5つの目標 市民一人ひとりが人権教育の心を育てるために

- ① 気持ちの良いあいさつができる人に  
 自他のいのちを尊重する気持ちが生まれ、明るく前向きな気持ちになります。
- ② はきものをぬいだらそろえる人に  
 行動をふり返り、自分を大切にする心が育ちます。
- ③ 人に呼ばれたら「はい」と気持ちのよい返事ができる人に  
 素直な気持ちになり、快い人間関係が生まれます。
- ④ 人の話が聴ける人に  
 相手を受け入れようとする広い人間関係が深まります。
- ⑤ 自分の意見を相手に伝えることのできる人に  
 自分を開き、お互いの人間関係が深まります。

